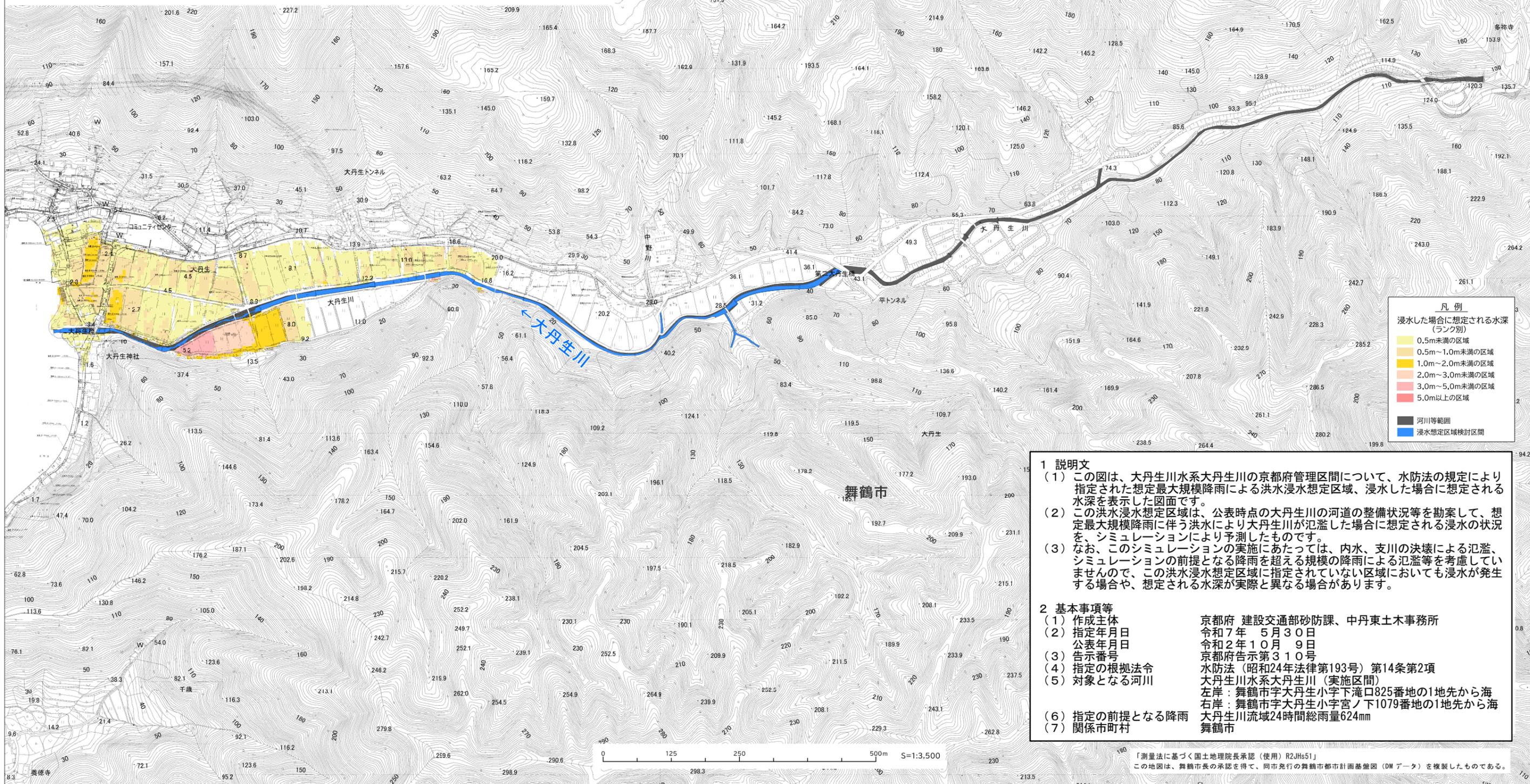




# 大丹生川水系大丹生川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



凡例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
<span style="background-color: yellow; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	0.5m未満の区域
<span style="background-color: orange; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	0.5m~1.0m未満の区域
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	1.0m~2.0m未満の区域
<span style="background-color: darkred; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	2.0m~3.0m未満の区域
<span style="background-color: magenta; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	3.0m~5.0m未満の区域
<span style="background-color: red; border: 1px solid black; display: inline-block; width: 10px; height: 10px;"></span>	5.0m以上の区域
<span style="border-bottom: 2px solid black; width: 10px; display: inline-block;"></span>	河川等範囲
<span style="border-bottom: 2px solid blue; width: 10px; display: inline-block;"></span>	浸水想定区域検討区間

**1 説明文**

(1) この図は、大丹生川水系大丹生川の京都府管理区間について、水防法の規定により指定された想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

(2) この洪水浸水想定区域は、公表時点の大丹生川の河道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により大丹生川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

(3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、内水、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

**2 基本事項等**

(1) 作成主体	京都府 建設交通部砂防課、中丹東土木事務所
(2) 指定年月日	令和7年 5月30日
(3) 公表年月日	令和2年10月 9日
(4) 告示番号	京都府告示第310号
(5) 指定の根拠法令	水防法(昭和24年法律第193号)第14条第2項
(5) 対象となる河川	大丹生川水系大丹生川(実施区間) 左岸: 舞鶴市宇大丹生小字下滝口825番地の1地先から海 右岸: 舞鶴市宇大丹生小字宮ノ下1079番地の1地先から海
(6) 指定の前提となる降雨	大丹生川流域24時間総雨量624mm
(7) 関係市町村	舞鶴市

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs51」  
この地図は、舞鶴市長の承認を得て、同市発行の舞鶴市都市計画基礎図(DMデータ)を複製したものである。